**現場の週報から（令和2年11月２日～12月6日）**

**【11月２日～11月8日】**

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：高橋秀和さん

・５日定義山へ紅葉とお参りに行ってきました。大和町から定義山まで昔は歩いて山道を抜けて行ったと車内で会話されました。コロナウィルスの影響もあって家族と外出をしなくなったと話されたお年寄りがおり、家族への感謝と揚げ饅頭や油揚げを購入され家族が喜ばれたようでした。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・ご利用されている方から、渋抜きをした柿を頂きました。ドライブに出かける足も止まり「いいねえ、みんなで食べよう」と気持ちは食欲の秋になりました。「今は売ってる柿は甘柿だから、渋抜くなんて懐かしいね」「ヘタだけ焼酎に付けないとべちょべちょに柔らかくなっちゃうんだよね」「焼酎付けた後は、袋に一緒にリンゴ入れると早くできるんだよ」職員の知らない知識をたくさん教えてくださいました。「今年は渋抜いちゃったら、来年はみんなで干し柿作りましょう」と話され「いいねいいね。こたつで食べたいね」と早くも来年の予定を皆さんでたてられていました。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・宮城県内のコロナ感染者数増加についてご入居者さんも気にされており、一緒に換気の号令をかけて下さる方もおられます。また、しっかりと消毒が出来るように物品を購入させていただいたり、収納の場所を職員みんなで知恵を出し合いながら取り組んだりとみなさんの意識に変化がみられてきております。感染対策に十分配慮しながら、みなさんと今できることを楽しみながら過ごして行けるよう取り組んでいきたいと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・紅葉を観に午後からのドライブを行いました。行かれたご利用者からは「きれいだね」「もう少し色づくともっときれいになるな」と話があり、景色を見ながらのドライブを楽しんでいます。

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・Mさんに誕生日が近いのでお祝いさせて頂きたい旨をお伝えすると「年は取りたくないのでいいです」とのご返答がありました。自然を見ながらのドライブがお好きなため「紅葉を見ながら塩釜・松島方面へドライブはどうですか？」と尋ねると「その方がいいですね～」と、お声を頂き個別で企画させて頂きました。午後出発時はパラパラと雨模様でしたが、まもなくするとうっすらと虹が出ており、「前にも見ましたよね」(以前泉ヶ岳ドライブの折にも4回程見られました)と、心が弾んでいるようでした。まもなく天気は晴れ間がさしこみ、多賀城を走っていると前方の上空に不思議なクロスした円の雲が浮かんでおりました。塩釜神社に到着し駐車場から坂を上り志波彦神社へお参り、菊祭りの菊を眺めました。「昔、毎年元旦に家族でよく来てたんだよね。菊も奇麗ね～」と、お花を好まれるMさんは花びらにもそっと触れておりました。その後45号線を松島に向けて出発すると快晴になり「あら～松島の海きれいね～紅葉もちょうどいいし、今が一番いい季節じゃないですか。いくらお金があっても健康がなければ何もできないからね、健康が一番じゃないですか。あなたも健康に気をつけなさいよ」と、いつも教えて下さる教示をしみじみと笑顔で語っておりました。西行戻しの松公園に到着し、松島湾を一望できる所から眺め「いいわね～また桜の咲くころにお弁当を持って来ましょう。また連れて来て下さい」と、きらきらとした目で大自然と秋の季節を感じておられました。帰り道は利府・県民の森をドライブして戻って参りました。「とても楽しませてもらいました、ありがとう」と、たくさんの偶然が重なった誕生日ドライブを喜ばれておりました。Mさんはどちらかと言えばあまり皆さんと交流されず、お一人で自由に過ごされることを望まれますが、ここに来たら皆さんとお話ししてお茶を飲みたいからね、とも話されます。周りの皆さんとの輪の中での過ごし方や、個別の配慮もさせて頂きがら来て良かったと思って頂ける時間を、ご本人様と皆さんで力を合わせてこれからもつくっていきたいと思います。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・お誕生日だった入居者さんのところに息子さんが面会に来てくださいました。よく好んで食べていたというお弁当屋さんのお弁当を買ってきてお部屋で親子水入らずでお弁当を食べアレンジフワラーのお花が飾られていました。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・1階で栽培していたしいたけは無事にみんなで収穫して食べることができました。2階で栽培しているエリンギはまだ芽が出て来ず、引き続き観察中です。紅葉を見に、なかなか遠くまでは行けないので、数回に分けて1時間程度のドライブを行っています。レベルが3になりましたが、天気の良い日には対策を行いながら、ドライブや散歩を楽しみたいと思います。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・岩手県出身のご利用者さんの誕生月で、ご本人より「ひっつみを久しぶりに食べたいな」とのご希望をいただいていたので、みなさんで「ひっつみ」を作りました。生地を練り一口大にちぎり形をつくる作業に、みなさんとても楽しまれていました。沢山の野菜の甘みときのこの味がよく出ていて、とてもおいしく出来上がりました。食べたいと話されていたご利用者さんも「何十年ぶりに食べた、懐かしいな、毎日でも食べたい」と喜んでくださいました。だんだん寒くなり、レベルも上がり屋内で過ごす時間が多くなりますが、充実した時間でした。紅葉も見ごろになってきたので、晴れ間を見て出かけたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・8日の午後にドライブしながら、県民の森へ出かけ、紅葉の景色を楽しんできました。途中までの景色も皆さん楽しんでいる様子で建物やお店、風景を見ては驚く様子や歓声が聞こえてくる場面もありました。肝心の県民の森では丁度、きれいな紅葉の景色を見て楽しむことが出来て参加された8名の利用者さんには喜んでもらえたようです。写真もたくさん撮って帰ってきました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・5日「ご自分で好きなものを注文して食べる」企画が大盛況でした。亘理の田園というお店から職員はご利用者の注文したメニューを送迎車に積み、uber eats ならぬ、ゆめみデリバリー。慎重に運びご利用者のもとへ無事に到着。キラキラしたいくら丼、ふっくら柔らかなうな重、豪華な江戸前寿司、旬のはらこ飯定食等々・・・。相当美味しかったのでしょう。皆さん無言でもくもくと、笑顔で完食されました。　第二弾は、岩沼の金蛇神社がリニューアルしたので、「紅葉ドライブがてらお茶をしに行こう」を企画しています。

・ご近所の方から、「頂いたものですが使ってください」と美空ひばりや天童よしみのＣＤとＣＤデッキを頂きました。コロナで歌えないでしょうからお使いくださいと優しいお言葉も頂きました。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・入居者さんの声を聴きながら、ドライブに出かけたり、近所を散歩したりと天気がいい日は外に出かけています。幻聴があり、なかなか落ち着くことができない方も、お声がけし気分転換に外に出て、外の空気を吸い、花や紅葉を眺め、肌で感じることでとてもいい笑顔になられ、話に花が咲きイキイキした表情を見せてくれています。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・5日に定義山外出しております。今回は先月雨で中止になった日の分の振り替えとなります。当日は天気も良く、外出日和でした。戻ってきたお年寄りからは「おにぎりが大きくてね～。久しぶりに行くと結構変わっているもんだね。やっぱりたまに行ってみるのはいいもんだ」と色々話を聞かせてくれました。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・6日に七ヶ宿の方へ紅葉ドライブへ出かけております。「来年は蔵王の方に行きたいなあ」「とても良い機能訓練になったよ」とドライブに出かけた方からまた行きたいという声が聞かれました。また、お年寄りの声を聞きながら計画を練っていきたいと思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・今月より午後の過ごし方について、一人ひとりが考え取り組むようにしております。人任せにしない、一人ひとりが学ぶ姿勢を持ち、お年寄りとどういう関わりが展開されるか楽しみです。まだ、経験の浅いスタッフが多いため、臨機応変な対応は難しいので平準化を図りスタッフが共に成長できることを願っております。

■ショートステイわかなの杜：齋藤匡晴さん

・5日に何名かのご利用者の方と紅葉ドライブに行ってきました。場所は泉区にある加茂神社で、いろいろお話をされたり、自然に手をつながれるご利用者の方もいたりと、色づく木々を見ながら皆さん終始笑顔で楽しまれておりました。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・柿を頂き、皆さんで干し柿作りをしました。紐につるしながら、季節感を感じれる時間を過ごされていました。

・6日、以前よりボランティアに来ていただいていた、さくら会の皆さんがマンドリン演奏に来てくださいました。ＣＨ玄関前で、季節の曲や懐かしい曲を演奏してくださいました。久しぶりの音色に、皆さん癒されていました。

**【11月9日～11月15日】**

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・９日ピザ作りイベントを行いました。わかなの杜では初めてだったため大変なこともありましたがとても好評との声が聞かれました。本格的に生地から作りチーズとトマトソースをたくさん乗せてフライパンでしっかりと焼いて食べました。テーブルごとに行い、多少の焦げや固さもありましたが皆さんとても良い表情をされていました。「私も家で作ってみます！！」や「ピザってこんなに美味しいんだ！！」と初めて食べた方もいらっしゃいました。対話を深めていくとたくさんの思い出などを笑顔で話をして下さいます。これからも１つでも多くの夢を一緒に実施できるように対話を続けていきたいと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・日中の過ごし方を職員と話をしながら工夫して行っております。ＤＶＤ鑑賞の時は、ＴＳＵＴＡＹＡから借りてきたＤＶＤをご利用者一人一人に聴きながらその日に観るＤＶＤを決めています。昔の映画を観たりすると「懐かしいね。」「この俳優の名前なんでっけ？」と楽しそうに会話をされておりました。中でも毎回「釣りバカ日誌」は人気でした。今後も工夫をしながら行っていきます。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・９日紅葉狩りイベント（青葉城への初のイベント）高橋さん、青沼さんをはじめ、職員の皆さんの配慮、ご協力があり、無事に終了いたしました。本当にありがとうございました。ご本人達は、車中、「何十年ぶりにここ通った。だいぶ変わったね。ここ初めて来た。とても楽しかった」と満面な笑みを浮かべ、悠々に戻ってからも、皆さん余韻に浸る位、とても楽しかったと何度も言っておられました。本当にとても良かったと思っております。今後も皆さんに確認しながら対応出来ればと思います。本人、ご家族にフォトレター一人一人作成し、皆さんにお渡ししております。お昼ははらこ飯を食べました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・12日七ヶ浜町の松ケ浜に釣りに行きました。男性利用者2名、職員2名で出かけています。久しぶりの釣りということもあってか、とても楽しまれておりました。お二人ともそれぞれ魚が釣れ、満足したご様子でした。良い写真もとれたためお渡ししております。ご家族も喜んでおりました。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・８日に以前より企画していた紅葉ドライブに行ってきました。「あら～本当にきれいだね～」と紅葉を拝見しうっとりされたり、「久しぶりにこの道通った～」と懐かしまれたりし笑顔いっぱいの時間を過ごしてきました。記念撮影した写真をみなさんにお渡しすると「よくキレイに撮れたことね～。今でも紅葉の美しさをおもいだすよ～」と喜ばれております。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・干していた干し柿が食べ頃となり、HさんとAさんに取って頂き、柔らかい物を食べました。「甘くなったね」と皆さん食べました。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・グループホームの駐車場で収穫させてもらった「ゆず」を使い、ゆずの甘露煮とゆずと白菜の浅漬けをご利用者と作ってみました。浅漬けはみなさん想像できましたが甘露煮は作ったことのある方がおらず、ドキドキの味見でした。始めは「えぐみが強いな！」とのご意見でしたが、少し時間を置くと甘みも出てきて大成功でした。天気のいい日に柚子茶にして飲みたいねと話しています。

■杜の家かぐら：冨沢直人さん

・天気も良く暖かい日も続き、平日の人のいない時間帯で紅葉ドライブに出掛けています。

皆さんからの意見を元に、竹駒神社や加茂神社などの紅葉を楽しまれています。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・ご利用者の方で自分の実家の地域に、イチョウの木で有名なのがあると話がありました。柴田町に国指定天然記念物　名称は雨乞（あまご）のイチョウがあります。早速その方を案内人にドライブに行きました。紅葉にはまだ早かったのですが、樹齢は600年と見事な巨樹。久しぶりの実家の近くのドライブに「その上に3軒家あるんだ、山道だから雪降ったら大変だったけど毎日学校に通ったんだ」など懐かしそうに教えてくれました。同乗していたご利用者からは「それじゃお腹すくからいっぱいご飯食べたんでしょう？」という質問を何回もされていました（\*^\_^\*）

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・廊下に飾っている写真の入れ替えを皆さんと行いました。芋煮会でお料理をしている写真、青空の映えるドライブの写真、お互いの写っている写真を見ながら「また、美味しいの作って食べたいね。だってこんなにいい顔して写ってるもの」「これどこに行ったんだっけ？すっかり忘れたから、またいくべ」「こんなにいい写真、撮る人の腕もいいんだね」と飾ってくださいました。すでにクリスマスや年越しの話題が出ており、「クリスマスと言えば鳥！鳥の丸焼き」とご希望の声が聞かれておりました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・15日に芋煮イベントを開催しております。当初は診療所側だけでの予定でしたが、感染防止対策として老健側と別れて行っております。いつも家事をされている方がそのまま活躍されたり、男性も「やるよ」と積極的に行ってくださったりと、厨房で準備した芋煮の材料でしたが、鍋ごとに異なる味や野菜の切り方になりました。外では焼き鳥とウィンナーをスタッフと利用者さん達で焼いております。午後はDVD鑑賞しております。午前中の頑張りからの疲労でウトウトされる方もおりましたが、イベント担当が健闘し皆さん楽しまれておりました。

■特別養護老人ホームふたばの杜：村上晴香さん

・12日小規模の皆さんから畑で収穫したサツマイモをいただいたので、スイートポテトやさつまいもご飯を作りご利用者の皆さんと召し上がりました。「やっぱり手作りっておいしいよね！」と普段食が進まない方もパクパクと召し上がっておられました。小規模で収穫したサツマイモの評判もピカイチで「来年も食べたい！」と皆さん話されておりました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・12日の昼食はお刺身定食でした。生もの解禁シーズンに入ったのでお楽しみメニューとして栄養士さんが企画してくれました。ご利用者はペロリと召し上がり好評の声が続出しました。「珍しい！なかなか食べられないからうれしい」「また食べたい」などなど。これから月１回のペースで実施していく予定で来月は「ネギトロ丼」です。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・14日食事があまり進まない入居者さんのために出勤前に秋保の「さいち」にて、あんこのぼたもちを買ってきて下さいました。２つ、ぺろりと召し上がって他スタッフも感動しておりました。

入居者さんとそのスタッフさんは名前も年齢も一緒。さりげなく行っている行動に入居者さんを大切にしている気持ちが伝わってきます。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・天気の良い日は時間を見つけて、散歩や人のいない穴場へドライブに出掛けて紅葉狩りを楽しんでいます。各々でベストフォトが撮れることを期待しております。お出掛けした皆様からも、「良い所に連れていってもらったっちゃ」「最高だったや」と多くのお言葉を頂いておます。コロナ禍で緊張もありますが、日本の四季を感じながら癒され英気を養っているところです。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・毎日の体操やレクリエーションなど余暇活動について換気や距離をとりながら行っております。最近、利用者さんからの声で耳にするのがトランプゲームをしたいとのことで、一人一人の距離をとりながらスタッフが間に入るなどして行っております。今後もご利用者さんの「～したい」を大切に、思いを一緒に実現できるようスタッフ間で話し合い、工夫して行えるよう努めていきたいと思います。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・お天気もよかったので、２日続けて県民の森へ紅葉を見に行きました。勿論車内もきちんと窓を開け小人数で行きました。県民の森は平日だったのでガラガラでした。青麻神社はまだ紅葉の葉が半分青かったですが、県民の森は真っ赤に色づき、また大きなイチョウの木は真っ黄色になっていました。「すごいな！真っ赤だな」「黄色が綺麗だね」など、それぞれ感激されていたようでした。今回は久々に出かけた方もいて「おぉ～凄いな！」「あ！車が来た」など話されていました。最後の方は疲れたのか「そろそろ帰ります」とも言われ、そうですね。そろそろ帰りましょう。と帰ってきました。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・11日芋煮会を行いました。準備の段階からご利用者の方にも手伝っていただき、皆さん手際が良く順調に進みました。今回も宮城風、山形風の芋煮を作りました。「年１回の楽しみだし皆とこうやって食べれて良かった」「腹いっぱいになった」という声も聞かれ何回もおかわりする方もいました。今年も芋煮会は大成功。また来年も実施できればと思います。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・7日に希望の杜にてお看取りをさせていただいたKさんのご家族が、11月16日に来訪されました。デイケアの利用から始まり、長く希望の杜でお世話になった方です。「コロナ禍の中でも面会をさせていただいたり、電話で細やかにご本人の状態を教えてくださり、本当に感謝しています。一生忘れません」と、心温まるお言葉を頂戴しています。現状病院では、入院するとご本人に一度も会うことができず、そのままご逝去されるということも珍しくありません。感染予防の徹底という意味では間違ってはいないと思います。ただ、人としての当たり前の権理として考えた時、ご本人の想いを考えた時、愛しい家族に囲まれて人生の最後のページを迎えるということは、かけがえのないこと。Kさんとそのご家族と出会い、あらためて強く感じた次第です。感謝です。

**【11月16日～11月22日】**

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：高橋秀和さん

・ここ最近暖かい日が続いていましたので、希望の杜で行われている菜園から大中小の里芋を掘り出しました。全ての芋を今月末に行う芋煮の材料と思っていましたが、大きな里芋は来年の種イモにした方が良いとあるお年寄りが話され、大きな芋は別に分けて来年収穫できるよう保管しました。

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・17日は寿司イベントを行いました。わかなの杜では毎年とても人気のあるイベントで皆さんから「今年はコロナだからやらないよね？」「お寿司が食べたい！！」との話をたくさん頂いておりました。当日はもちろん十分に換気と消毒。フロアを分けたり、座席の配慮を行ない無事に実施する事ができました。ご本人からは「美味しかったです！またやって下さい！！」や「お腹いっぱいです！大満足だよー！！」と満面の笑みがいっぱい見られました。開催に至ってはスタッフのサポートや準備がたくさんありましたしスタッフにはいつも助けられ感謝でいっぱいです。これからも対話を続けご本人とスタッフが楽しみや喜びを共有できれば良いと思います。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・木曜日に菊池さんから来ていた紅葉フォトコンテストを今年も例年通り実施しますとのメールを読み、しばらくドライブは出来ないかと思っていたご利用者の皆さん、職員に伝えると「やった！どこ行く？」と喜びの声が聞かれました。イチョウの葉は大分落ち始めてきましたが、もみじが綺麗に色づきご利者が「加茂がきれいだ」と教えてくだいました。「じゃ行こう！」と土曜日は全員で加茂神社へ出発。意気揚々と出発され、帰りはどんな感想を聞かせて頂けるのか楽しみに待っていると、「ダメダメ～」と第一声。お話を伺うと、もみじは凄く綺麗だったのに七五三のお祝いで混んでおり、駐車場がいっぱいで行けなかったとの事でした。その為に急遽、資福寺へ行ったものの、何だか期待外れに終わってしまったご様子でした。「土曜日だからね。来週の平日に出直そう」と前向きなお言葉も聞かれました。ドライブに参加された方の中には「こんなに風も冷たくなって、日も短くなったんだね」と室内では感じる事の出来ない季節の移り変わりを感じられておりました。来週も皆さんと相談しながらドライブへ出かけたいと思います。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・中庭のウッドデッキ。2年程塗っていなかったため、だいぶ色あせていました。今年は杜の家と協力し、職員、ご利用者さんと何日かかけ塗り上げることができました。残りあと一息、という時、いつやろうかタイミングをみていると、ご利用者のTさんが黙々とやり始めました。そのおかげで、冬を迎える前に終えることができました。

・11月のイベントは美味しい物を食べる会。お昼には前日から時間をかけて、ご利用者さんたちと仕込んだおでん、串カツをお腹いっぱい堪能。満腹感も束の間、午後はさつまいもを練りこんだ練りくり団子（From宮崎)、梅が枝餅（Ｆrom太宰府天満宮）、いきなり団子（Ｆｒｏｍ熊本）を皆さんで作り、またもお腹いっぱい食べました。ご利用者さんの感想から「みんなで手作業できて、とても楽しかったです。みんなで美味しい物食べるっていいですよね。コロナのこと忘れてしましました。」と、みんなで良い時間を過ごすことができました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・7日Sさんの卒寿サプライズ誕生日のお祝い。高橋さんが、おやつ時にケーキ、花束のサプライズお祝いをしました。Sさんとても喜ばれ、涙ぐまれてました。帰宅時に、ご家族様にお祝いの写真を作成し、お渡ししております。次の日Sさんはお休みでしたが、奥さんに悠々にお礼の電話してとの事で感謝の言葉を頂いております。ご本人はどうしてもらいたいかを考えさせられる出来事が沢山あります。今後もご本人との関わりの中で共に感じながら深めていけたらと思います。

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・お約束をしておりました加茂神社の紅葉を少人数で見学に出掛けて参りました。鳥居に覆いかぶさる程の立派な紅葉の樹を眺め、近隣の住宅街の色鮮やかな銀杏並木の街路樹も通りながら快晴の中のドライブでした。「あんな大きい紅葉見たことないね～。快晴でお天気も良くて一番いい時にいいもの見せてもらいました、ありがとうございます」「最高です」と、今しか感じられない日本の四季の美しさを感じて頂いたのではないかと思われます。室内でお過ごし頂く時間も少しでも楽しんで頂けるよう皆さんと考えていきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・コロナの感染対策として、常時換気を温度、湿度に気を付けています。麻雀を楽しみに来られているご利用者の方もいるので、別な場所での麻雀も検討しましたが場所の確保が難しいためサージカルマスク、フェイスシールドを着用して行っています。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・１６日秋晴れだった為、散歩へ皆さんをお誘いしました。近所の小学校のポプラの木を眺め、お寺さんの傍のイチョウの木を眺めてきました。「あそこはね、昔はもっと大きい木があって」「そこの道を行くとお寺の横にでるんだ」とHさんが教えてくれました。



■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・大分寒くなり皆さんから暖かいものを食べたいとのご希望があり、今週は室内でうどん作りやはっと汁作りを行っています。どちらも煉る作業が大変ですが、みなさん汗をかきながら頑張りました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・20日に岩沼の金蛇水神社に紅葉ドライブに行ってきました。密にならないように3台の車で、座席も隣を開けながら乗って行きました。天気は曇りで何とか持ちこたえてくれそうな感じでした。ところが、間もなく到着というところで、雨が降ってきてしました。神社はリニューアルしており、オープンカフェテラスには屋根がついていたので何とか雨にぬれずに過ごすことができ、ご利用者さんは、好きなドリンクを注文して日本庭園を眺めながら、ちょっと優雅な気分でティータイムを過ごしました。「何十年と来てなかったから、こんなに変わったのね」「雨も風情があっていいわね」とご利用者同士会話も盛り上がっていました。白蛇の形のアンパンが販売しており、みんなで「うわー！すごいとぐろ巻いてる」でも食べると「おいしかった」と大笑いしました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・17日にカレーイベントを行いました。室内で午前中からカレーをご利用者、職員と協力をしながら行いました。ホールにはカレーの食欲をそそる匂いでいい感じでした。「うまいね。」、「皆で作って、食べるとさらに美味しく感じるわ。」と満足そうな返答がありました。今後もコロナ対策を考えながらイベントをご利用者、職員と共に行っていきたいと思います。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・今年は、渋柿が手に入らず、毎年行っている干し柿作りをあきらめていたところ、秋田の渋柿を頂ける事になり、入居者さんと、スタッフとで100個以上の干し柿作りを行いました。「ここの葉っぱの部分を取り除いたほうが早く乾くんだ」「正月のなますに入れても美味しいのよ」と入居者さんから色んなお話を伺いながら作りました。今年も出来上がりが楽しみです。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・22日午後の時間に当事業所の前を走る国道45号線を舞台に行われた全日本女子実業団駅伝を利用者さんと一緒にベランダから応援しながら声援を選手に送りました。テレビ中継を観ながら選手たちが通過するのをみなさん、今か今かと待っており、ついに選手たちが目の前を通過する際に利用者さんから【がんばれ・がんばれ】と手を叩きながら元気に声援を送っていました。みなさん笑顔でなかなか直接観れない貴重な場面を楽しまれておりました。

**【11月23日～11月29日】**

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・23日はおでんの会を開催しました。先月に引き続きコロナ感染拡大防止に努めながら行いました。「本当にこの大変な状況の中、開催してくれてありがとう。毎月とても楽しみにしているよ。今回もスタッフの出し物面白かったよ。」と参加された方より感想を頂きました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・和田さんの親戚の方が自宅からお花を持って来て下さり、フラワーアレンジメントにチャレンジしました。皆さん楽しまれて行われておりました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今年も残すところ、あと一か月少しとなり、年末に向けて整理整頓や掃除を本当に少しずつではありますが始めておりました。玄関入口に飛んできた落ち葉や隣のアパートのフェンスに絡まった草や弦が枯れ始め、皆さんを迎える入口をきれいにしたいと思っておりました。ゴミ袋や軍手を準備していると「俺、手伝うことある？」とご利用者の方が声をかけて下さり一緒に掃除を始めました。思っていたよりも草や弦が取れず、半分片づけるのがやっとでした。そんなに引っ張ったら後ろにひっくり返るんじゃないかと思うくらい一生懸命に手伝って下さり冷たい風の吹く中、汗をかいて片づけました。「よし、今日はこの辺にするか。またやる時言ってね。手伝うから」と残り半分、年末前にまた頑張りたいと思います。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・体調不良にて紅葉ドライブに行けなかった方もおり、駐車場に自生しているナンテンとススキを花瓶に飾りました。「こんなに紅いナンテン見事ですね～」「こんな節になったんだね～」と秋を訪れを感じていらっしゃいました。今後も、けやき内で季節を楽しめるよう入居者さんのみなさんとの語らいの中から取り組みに繋げられるようにしていきたいと思います。

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・26日コロナ禍の中でも行けそうなところはないか？と考え初めての試みとして、マクドナルドドライブスルー体験イベントを行いました。私達は常日頃利用しているので、物珍しさはないのですが、参加された皆さんは「車から降りないでいいの？」「どうやってお金払うのすか？」と興味津々。注文口でのメニユーの写真を見て「これもおいしそう、」「あれも美味しそう」と、まさかのドライブスルー２周目へ突入。「来月も来たいね」のリクエストも頂きました。帰りは紅葉を見ながら帰ってきました。皆さん気分転換が出来たとの事で嬉しく思います。今後もコロナだからと諦めずに、予防・対策をしっかりと行ない、皆さんの声に耳を傾けて「今」を諦めずに関わらせて頂きたいと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・26日にデイの利用者さんからの依頼で草取りを行いました。メンバーは以前と同じ方々です。今回は落ち葉が多く全て拾うことはできませんでした。振り返りの時に皆さんから「途中でやめてしまうことはよくないね」など話がありました。依頼者の方からは「十分だよ」と話があり、草取りをされた皆さんのきっちりとしたい想いが伝わってきました。

・働くデイの一つとして、歌詞カードをパソコンに打ち込む仕事の依頼を受け先月より利用者さんのIさん、Nさんが行っており、完成し依頼者にいずみの杜でお2人から渡していただきました。依頼者の方、お2人、大変喜んでおりました。Iさん、Nさん共に作業が早く、こちらから言わなくても自ら打ち込み作業を行っておりました。現在Iさんには12月のイベントのスライドの作成をお願いしております。Nさんはだんだん意欲的になられているため、今後もご協力いただいていこうと思っております。

・29日にスイーツバイキングを開催しています。今年も沢山のスイーツを厨房で準備して頂きました。午前中は診療所、老健に分かれタッチングやプロジェクターで動画鑑賞を行いました。今回は皆さんに取りに来ていただくのではなく、スタッフが各テーブルを回りお好きな物を選んでいただきました。午後から開催という事もあり、「お昼半分残してた」という方もおりました。去年から始まったスイーツバイキング、いずみの杜の定例のイベントになりそうです。



■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・29日に芋煮づくりイベントを行いました。男性利用者も積極的に野菜の皮むき、カットを行ってくれました。鍋によっては汁が多すぎたり、野菜が多すぎたりすることもありましたが、そういう状況も楽しんでいたようです。参加されたみなさんには写真をプレゼントしました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・先週の午前中、ご利用者さんとのお話の中で、「天気がいいから外の空気が吸いたい」とお話しがあったため、近くの公園まで散歩しています。公園には滑り台があり、その方は「久しぶりに滑りたいな」とお話されていました。スタッフはさすがに滑り台は難しいかなと思いましたが、利用者さんの勢いに負け、スタッフが補助しながら滑って頂きました。利用者さんからは今までにない笑顔がみられ、「子供に戻ったみたいで楽しかった」とのお話をして下さいました。今後もご利用者さんの意向に沿いながら、利用者さんの能力を考慮しながら関わりを持てればと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・連泊されているTさんが、「髪の毛が伸びて鬼みたいだ」と話されていました。馴染みの美容室の方が亡くなってからは、娘さんが切ってくれていたそうです。娘さんに、ご本人が話して切ってもらうことになりました。当日は快晴、11月とは思えない暖かい日でした。感染予防のために、ゆめみのデッキで青空床屋をお願いしました。慣れた手つきの娘さん、安心しきった顔のTさん。二人を優しい日差しがまとい何とも言えない母娘の絵に心が癒されました。ショートカットが素敵なTさんに変身！他のご利用者さんからも「さっぱりしていいね」と大好評でした。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・2階のKさんが25日に92歳のお誕生日を迎えました。事前に息子さんにお願いして、息子さんからのお手紙をプレゼントさせていただきました。大好きな息子さんからのバースデイカードをとても喜ばれておりました。また、ご家族さんからも誕生会を開いていただいてありがとうございますと感謝の言葉とお菓子を頂きました。12月も誕生日を迎える方が居りますので、一人ひとり、その方らしい誕生会ができたらと思います。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・26日に、生クリーム好きなHさんの「デコレーションケーキつくりたい」とのリクエストにお答えして、デコレーションケーキを作りました。職員が炊飯器にてスポンジケーキを作り、イチゴと柿と洋ナシなど、リクエストがあった果物を準備し、利用者さんと一緒に、デコレーションを行いました。生クリームをスポンジケーキに、利用者さんが力を合わせて塗って、果物の飾りつけも「どこに飾ったらいい？」「ここなんか開いてて変じゃない？」など皆さんで意見を出し合い、にぎやかにケーキ作りが行われました。こんなに食べて夕飯食べれるの？と心配になりましたが、夕飯も皆さん召し上がっていました。「今日はなんの日？」と利用者さんからは話がありましたが、イベントにこだわらず、また利用者リクエストがあれば、行っていきたいと思います。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・ご利用者宅より頂いた大根を使い、ホットプレートで大根ステーキを作りました。みなさん食べたことがないと、焼けるバターのにおいに、そして焼いた大根を頬張り「おいしい」と感激されていました。また、天気の良い日のは鶴ケ谷の与兵衛沼へ白鳥を見に出掛けました。「もう白鳥が来てるんだね」と、冬の到来を感じられたようでした。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・利用されている利用者さんの中で、5名の利用者さんが11月の誕生日の方々であり、誕生日のお祝いを行いました。前日にケーキ作りの材料を購入し、利用者さんに声がけを行いケーキ作りのお手伝いを行って頂きました。準備の段階から楽しい会話を交えながら笑顔でケーキ作りを行って頂きました。午後より完成したケーキを食べながら、5名の利用者さんのお祝いを盛大に行いました。主役の5名の方々は、みなさん照れくさそうに笑顔で喜ばれていました。

**【11月30日～12月6日】**

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・12月に入り、室内装飾の飾りつけを皆さんで行いました。クリスマスツリーを職員が出すと「もう12月なの？正月来るわ」と驚かれる方、「これ何すんの？手伝ったらいいことあるか？」と質問され、職員が「サンタにお願いしてみますか」と話すと「その人どこから来るの？銀行か？」と笑いを誘う方。餡子餅に納豆餅、肉に魚が食べたい、死んだ爺さんとまた世界旅行に行きたい、苦労のない時代が来てほしい、サンタクロースにお願いしたい話題は歳を重ねても尽きないものでした。

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：高橋秀和さん

・畑でとれた白菜と大根を塩味で漬けました。あるお年寄りが薄味だからと言う事でたくさん塩を入れてしまい、唇が痛くなるほどしょっぱくなったようです。その後水で漬け直し食べるか現在思案中です。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・入居者のみなさんに食事を楽しんで頂けるようにと、食べたいものや昔自宅でよく召し上がっていたものを伺い食事のメニューへ取り込んでいます。また、新たなメニューにもチャレンジする中で入居者のみなさんに作り方を教えて頂きながら一緒に取り組む場面が多く見られています。「今日のご飯はとっても美味しかったね～」「ワ～わたしの好きなものだ～」と皆さん喜ばれながら召し上がった下さっております。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・ご利用者様より頂いた切り干し大根を使用し、切り干し大根の煮物作りを行いました。食べやすくご利用者さんにそれぞれ食材を切って頂き、丁度いい味付けに仕上がりました。「ん～美味しいね」と、皆さん笑顔で召し上がり頂戴したご本人様へお礼を後日改めてお伝えさせて頂くと「あはは～そうか～」と、笑顔で喜ばれておりました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・あっという間12月になってしまい、急いでクリスマスツリーを物置から引っ張り出して、ご利用者さんと飾りました。ツリーのどの位置に何を飾るかあれこれ悩みながら、「この花飾り綺麗だわ、髪の毛に飾ってもいいわね」などと女性陣は大盛り上がり。最後にモールをぐるぐる巻きつけ190ｃｍのツリーの完成です。その他に星に願いを一言書いて頂き壁に飾りました。何人かの願い事をご紹介します。＊「前回食べた美味しいうなぎ、また食べたい」＊「結婚」＊「縁」＊「私のお膝しっかりしなさい！」願いが叶いますように！

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・老健側のトイレの蛇口1つのしまりが悪く、Hさんにみて頂くと「交換しないといけない」と話があり、蛇口の交換をして頂きました。値段も高額かと思っていた所、Hさんより「そんなことない」と小口より支払える金額でした。毎度Hさんには大変お世話になっており、診療所、老健の利用者さんにも知られるようになっています。皆さんHさんの作業を関心されながら眺めています。Hさんご夫婦に感謝のお礼の計画中です。

・水道蛇口の写真ですが、古いものが先が短くなっているもの、新しいものが長いものになっています。Hさんに修理して頂きました。本当に頭が下がります。



■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・今月下旬はクリスマス・忘年会を予定しております。今回はスタッフ主導ではなく、お年寄りに伺いながら会を実行していきたいと思います。当日までに装飾の準備、当日のメニュー決めをゆづる婦人部の方々中心に企画を考えています。当日の昼食は、食事づくりをお年寄りの皆様に行っていただき、スタッフがサポートする形となります。今からお母様方のおふくろの味が楽しみです。「何作ればいいのかね？お煮しめは必要ださね！」など声が聞かれ嬉しいかぎりです。今年はコロナ禍の中での開催です。当日はスタッフもお年寄りも想い出に残る、ひと時を一緒に過ごしたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・12月は誕生日の方がいたり、クリスマスイベントをみなさん楽しみにされています。ケーキやご馳走は何にしようか、企画中です。室内の装飾もクリスマスっぽい飾りが増えてきており、増えるたびに「いいね～」と喜ばれています。クリスマスと並行して、お正月の食事も考えています。皆さんが何を食べたいか、皆さんの過程ではどのようなお正月料理を食べていたのかのお話をしながらメニューを考えています。

・常時換気をしていると、寒いと言われる方もいらっしゃいますが、例年より厚着をしていただいたり、暖房を上手に使いながら対応しています。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・介護の質について職員で話し合う機会がありました。わかなではBLGでの取り組みもあり、利用者さんの声を聞き具現化する事。「本人が本当にしたいことなのか？」という考えが浸透しているのかを今一度見直しました。コロナ禍のなかで、なかなか今までのようにイベント開催が出来ない状況ですが、だからこそピンチをチャンスに出来る「関わり方」を考えて実践をしていきたいと思います。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・12月に入り、クリスマスツリーをだして利用者さんと一緒に飾りました。「すごいね！子供が小さい時はさ、クリスマスだからってケーキ買ったりね。わざわざ仙台までケーキ買いに来たりもしたんだよ。」「昔はクリスマスなんてなかったけど、今はみんなするもんね。」など、昔の思い出を話ながら、飾りやモールを飾っていました。男性陣も「俺が出来っかな？！」など言いながらも、バランスを見ながら飾りをつけていました。壁にもクリスマスの飾りをつける時、椅子に乗って飾りをつける職員に「もう少し下。」「あ～それだとカレンダー見えなくなっちゃう」など、アドバイスをしたりしていました。飾り終えたツリーを一緒に、最後は記念写真を撮ったりもしました。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・入居者さんの意向を確認しながら年末の忘年会を企画している様子です。「何が食べたいですか？」→「なんでもいいよ～、、、こうやって話をして考えるだけでも楽しいよな～」と入居者さんが話されておりました。改めて、会話をすることの大切さを学んでおります。優先順位を間違えないようにしていきたいと思います。